

# Leader



## 2024年3月期 決算説明資料 リーダー電子（6867）

2024年5月15日

<https://www.leader.co.jp/>

# 2024年3月期 決算概要

---

## 2024年3月期 決算総括

業績：北米堅調。結果としてトップシェア奪取に向けた足場固めの期となった。

■ 売上高：4,544百万円（前期比+11.8%），経常利益295百万円

北米	放送局、ハリウッドを中心に堅調維持。当社シェアは着実に拡大。トップシェアが視野。
欧州	潮目に変化の兆し。パリ五輪含め、スポーツビジネスへの設備投資活発化。
インド・中東	大型案件受注。巨大なマーケットとして有望なため、シェア拡大を優先する戦略で営業強化。
中国	厳しい状況が継続。本格回復には程遠い状況。
日本	設備投資意欲低調が継続。

単位：百万円	2024年3月期 11/9修正計画	2024年3月期 実績	計画比 %
売上高	4,250	4,544	106.9%
営業利益	220	216	98.4%
経常利益	270	295	109.3%
親会社株主に 帰属する 当期期純利益	170	137	81.1%

■ 財務：自己資本比率 72.1%と盤石の財務基盤維持（前期末比△2.9pt）

## 2024年3月期 決算概要

北米において放送関連機器の販売が好調。

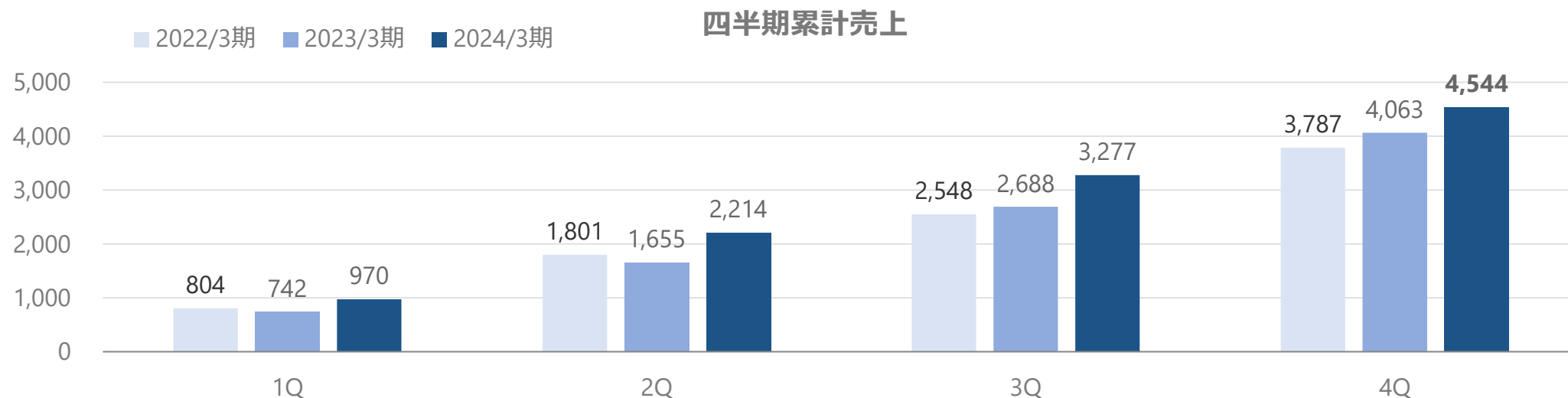
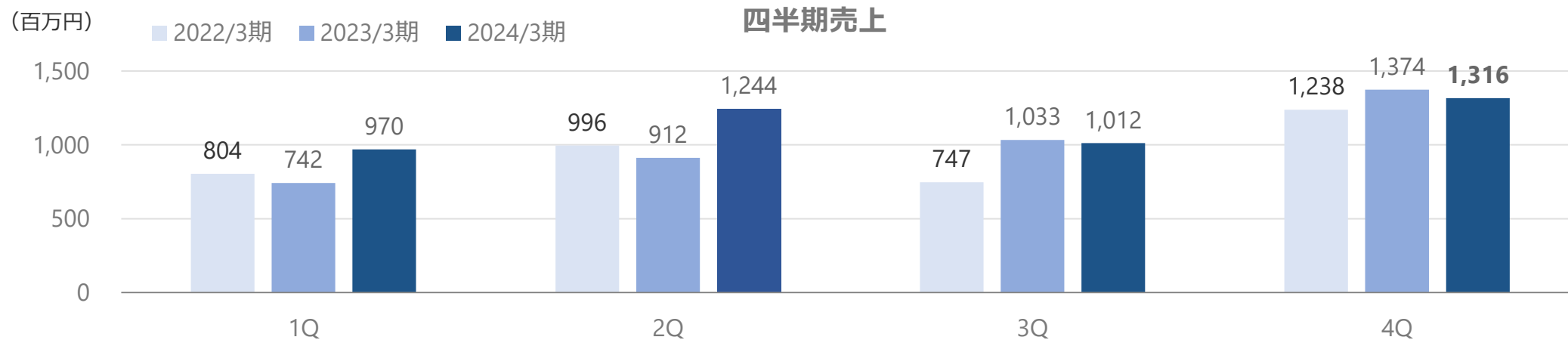
円安の影響もあり前期比11.8%の増収。各段階利益は黒字化。

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	構成比	2024年3月期 実績	構成比 %	前年同期比 %
売上高	4,063	100%	4,544	100%	+11.8%
売上総利益	2,586	65.9%	2,939	64.7%	+13.6%
販売費及び一般管理費	2,901	64.0%	2,723	59.9%	△6.2%
営業利益	△314	1.9%	216	4.8%	—
経常利益	△214	4.1%	295	6.5%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△644	3.1%	137	3.0%	—

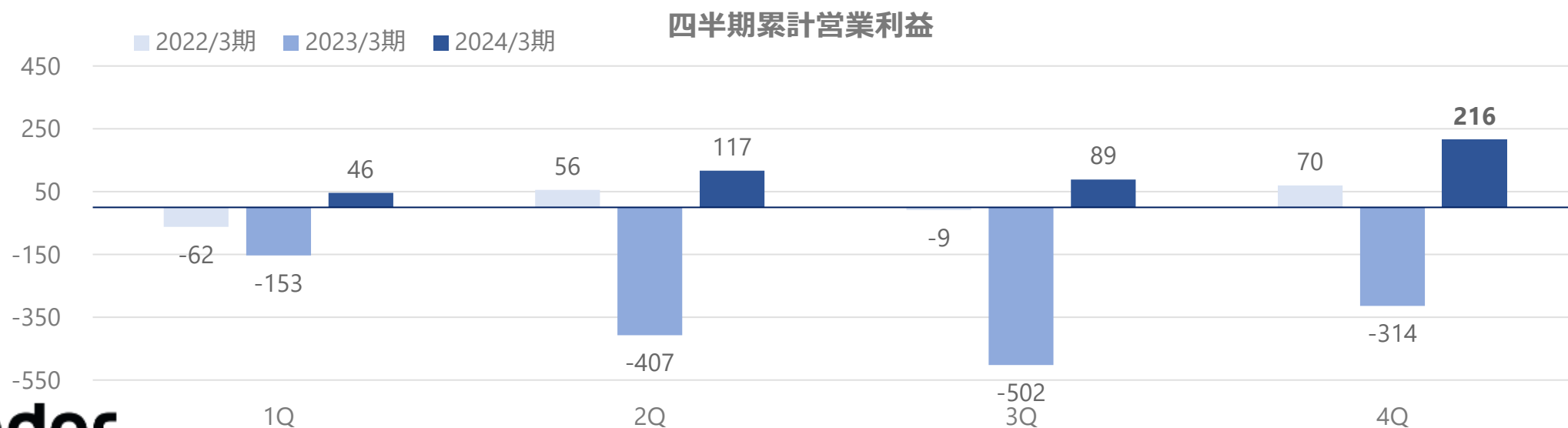
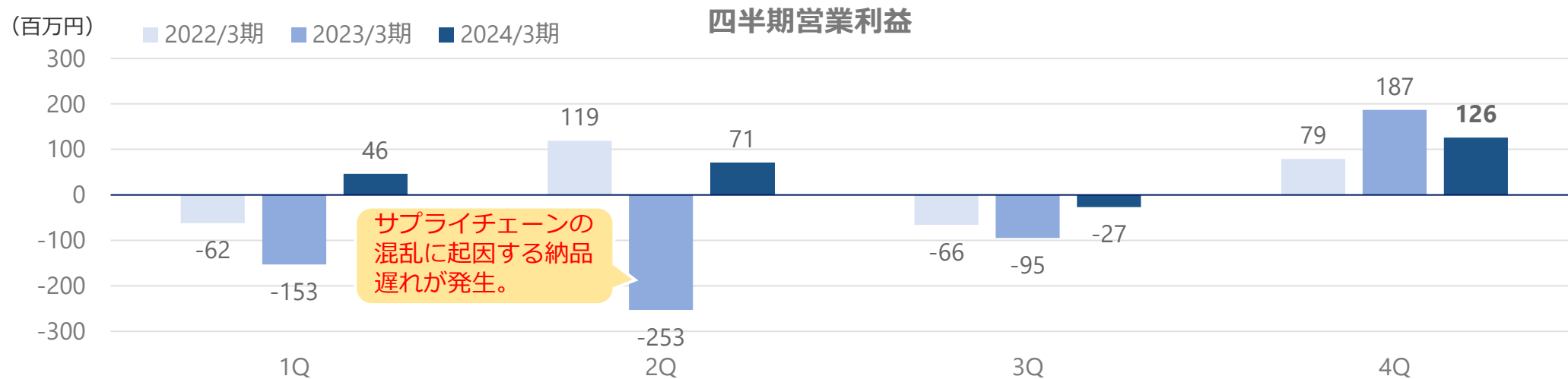
為替差益：+62

為替差益：+66

# 四半期業績推移（売上高）

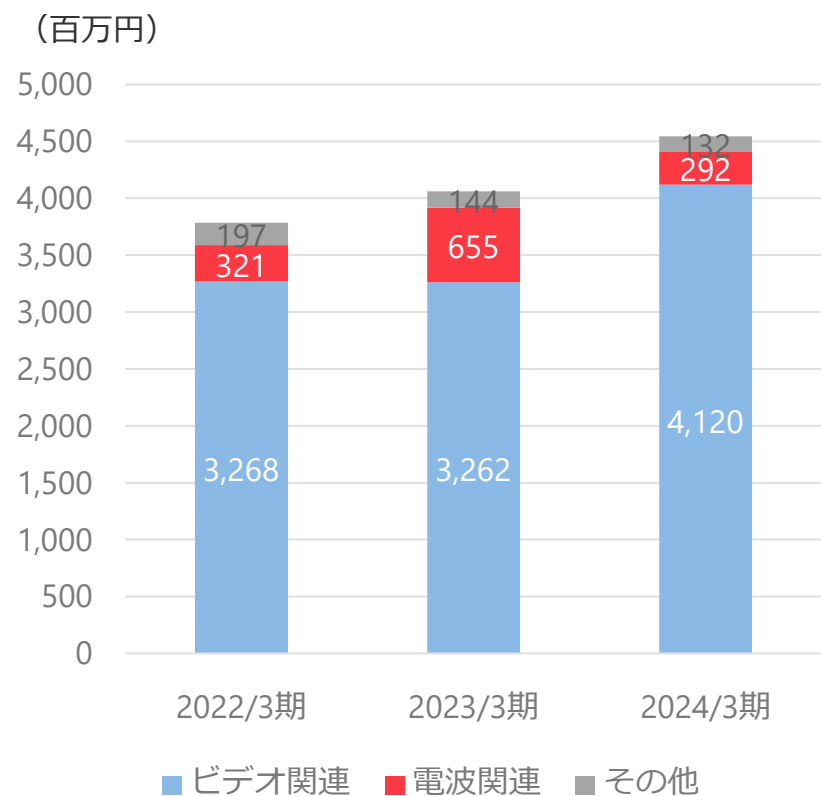


# 四半期業績推移（営業利益）

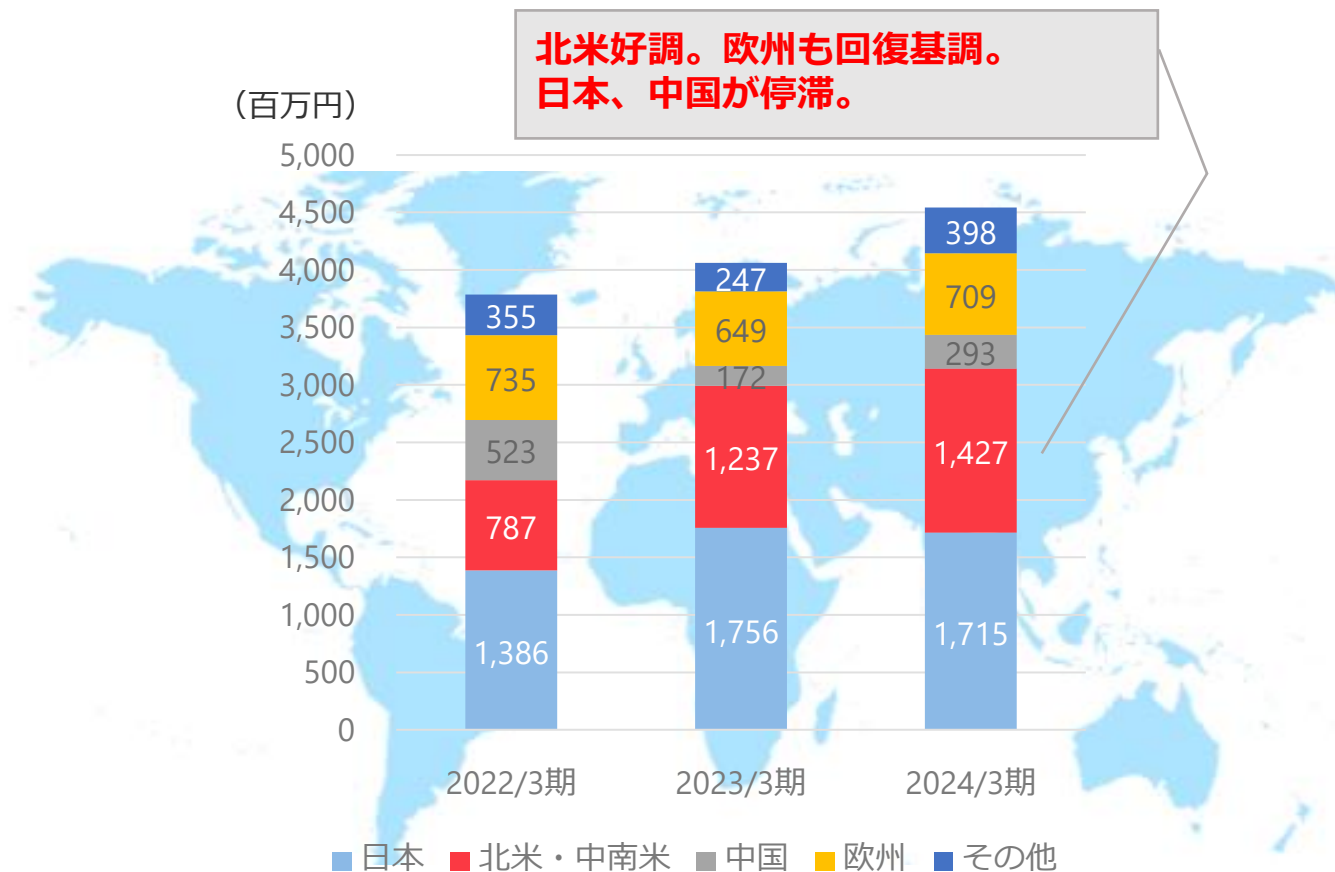


# セグメント情報

## ■ 商品別売上高



## ■ 地域別売上高



## 財務情報

単位:百万円	23年3月末	24年3月末
<b>流動資産</b>	4,418	<b>3,388</b>
現預金	2,428	<b>1,464</b>
受取手形、売掛金及び契約資産	1,235	<b>1,046</b>
商品及び製品	351	<b>372</b>
その他	404	<b>505</b>
<b>固定資産</b>	991	<b>1,243</b>
有形固定資産	503	<b>482</b>
無形固定資産	39	<b>31</b>
投資その他の資産	448	<b>729</b>
<b>総資産</b>	5,409	<b>4,632</b>
<b>流動負債</b>	840	<b>765</b>
買掛金	246	<b>149</b>
1年内返済予定の長期借入金	5	<b>6</b>
その他	589	<b>609</b>
<b>固定負債</b>	492	<b>507</b>
退職金に係る負債	344	<b>333</b>
その他	147	<b>173</b>
<b>純資産</b>	4,076	<b>3,358</b>
株主資本合計	4,138	<b>3,469</b>
その他包括利益累計等	▲61	<b>▲110</b>
<b>負債純資産合計</b>	5,409	<b>4,632</b>

**資本コストをより意識した経営を重要な経営課題と認識**

既存事業（バリュービジネス）でのシェア向上と新規事業（グロースビジネス）の収益化という自社経営資源による成長及びM&A等を通じた外部資源を活用した成長によりROEを改善することを目指す一方、自己株取得等の施策を通じて資本コストを低減することにより、企業価値を向上し、資本コストを安定的に上回るROEの達成を目指す。

**主な増減要因**

- 長期前渡金：+260百万円
- 現金及び預金：△964百万円
- 長期繰延税金負債：+49百万円
- 買掛金：△96百万円

2024年3月に769百万円の自己株取得を実施

**自己資本比率72.1%（前期末比△2.9pt）**



# 2025年3月期 通期計画

---

# 外部環境認識と事業方針

## 北米、欧州におけるトップシェア奪取に向けアクセルを踏み込む

欧米のシェア拡大に向け経営資源投下  
製品開発、マーケティング活動加速



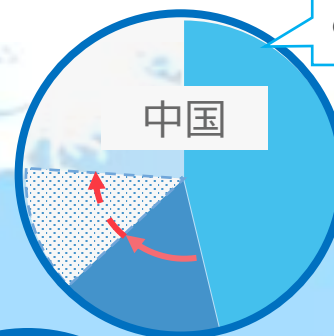
設備投資意欲好調を維持と予測。  
トップシェア奪取の環境が整ったと認識。CSを武器にマーケティング強化。

スポーツビジネスへの設備投資が活発化。マーケット環境は徐々に回復と予測。シェア拡大に向けマーケティング強化。

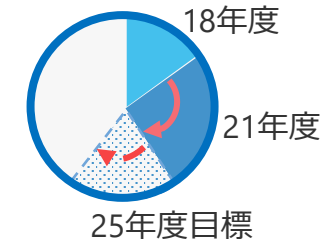
スポーツ中継など今後の拡大余地大きい。シェア獲得を優先した営業を展開。大型案件あり。

市場全体の低調な投資意欲が継続することを想定

引き続き厳しい環境の継続を想定。



推定シェア



## 2025年3月期通期業績計画

- IP化、リモートプロダクション化に対応するべく積極的な開発投資を継続。
- 北米、欧州におけるシェアトップ実現に向け開発、マーケティングの一層の強化。
- 今後成長が見込まれるインド・中東へのマーケティング強化。シェア獲得を優先。
- SFR-fitの国内におけるデファクト化と海外展開の足場づくり。

(単位：百万円)	2024年3月期 実績	構成 %	2025年3月期 計画	構成 %	前年同期比 %
売上高	4,544	100%	4,650	100%	+2.3%
営業利益	216	4.8%	250	5.4%	+15.5%
経常利益	295	6.5%	250	5.4%	△15.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	137	3.0%	190	4.1%	+37.8%

➤デファクト化実現に向けリソースを国内に集中。

MTF Measurement Software  
SFR-Fit

車載カメラ向け 解像度測定ソフトウェア

サプライチェーンを含めたビジネスモデル構築中

完成車メーカーと車載カメラ評価の仕組みづくり実施

販売拡大戦略

最終段階

2024年度

- 日本国内におけるデファクトスタンダード化
  - 1.日本国内完成車メーカーの横展開
  - 2.日本国内完成車メーカー向けサプライヤー（カメラメーカー等）への縦展開
- 海外展開（まずは北米）に向けた足場づくり

2025年度以降

- 海外市場での顧客獲得
- 自動車以外の産業に展開



【戦略製品】

Leader

# LV5600W / LV7600W / LT4670

波形モニター

ラスタライザー

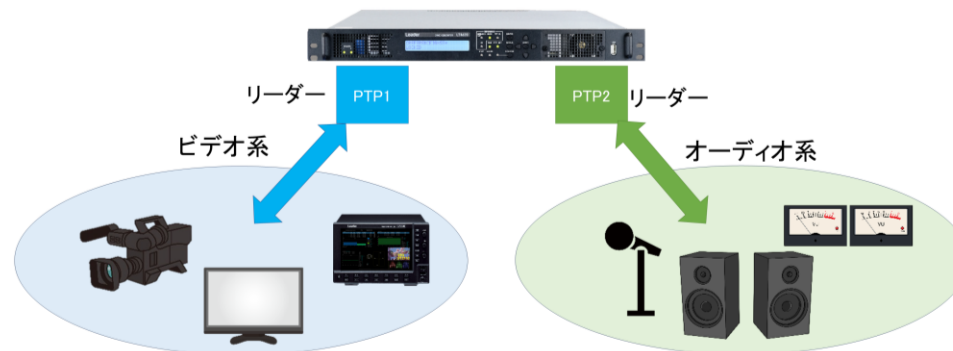
シンクジェネレーター

## ➤ IP化、リモートプロダクション化 対応機器

波形モニター ラスタライザー  
LV5600W / LV7600W



●独立したPTPネットワーク使用例



シンクジェネレーター  
LT4670

NEW



- ・今後加速するIP化と、IP化の特性を生かしたリモートプロダクション制作をWeb-RTCにてサポート。映像制作を格段に効率化。
- ・HDR(High Dynamic Range)対応TVへの映像提供を行う放送局が、適正なHDR映像を制作可能にする3D-LUT機能をLV5600W/LV7600Wへ追加搭載。
- ・マルチ言語の字幕DATA確認機能を追加搭載。欧州市場対応強化へ。

既存製品のビッグマイナー  
チェンジを実施

- ・放送専用機器の集合体に必要不可欠、且つシステムの心臓部にあたる同期信号発生器をアップデート。
- ・IP化・リモートプロダクション設備に必要な同期信号「PTP」を搭載。
- ・4K化・IP化を積極推進する放送業界向けに4K-SDI・4K-IP信号発生オプションを市場投入。

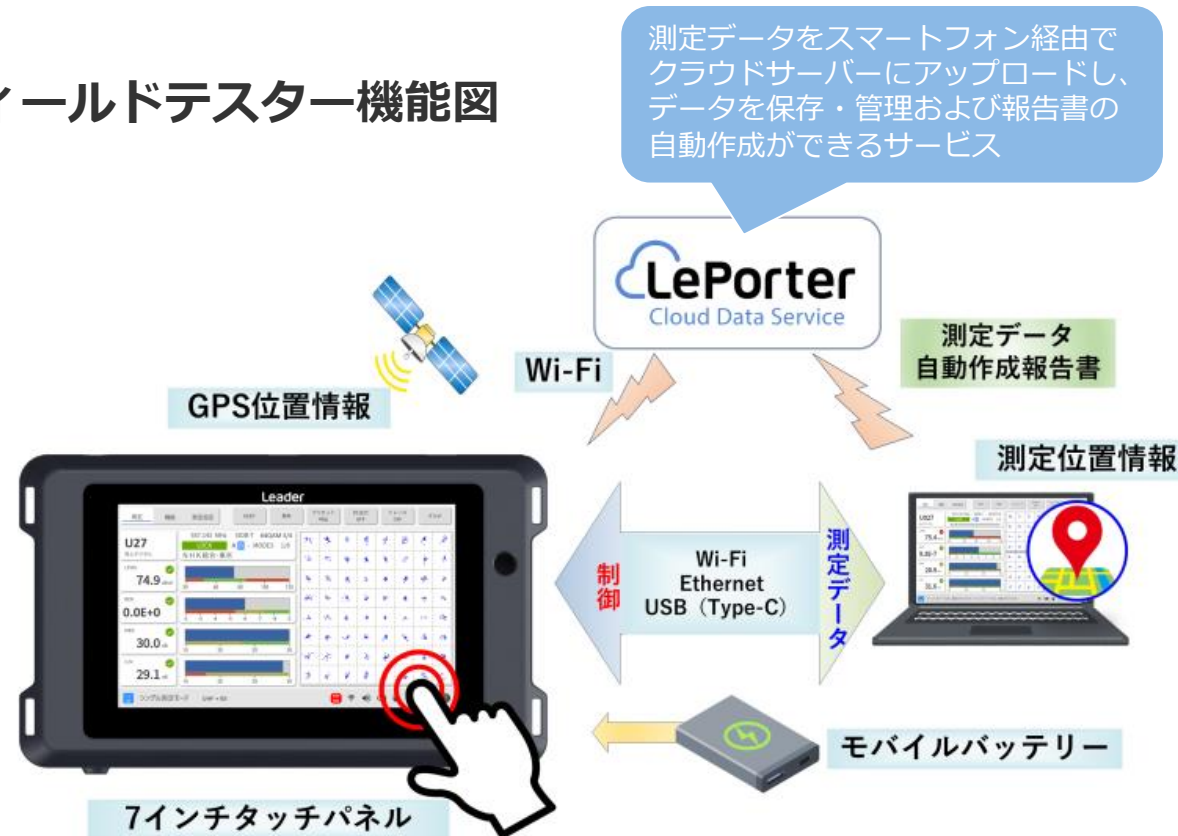
# ➤ 日本国内マーケット戦略商品

フィールドテスター  
LF995  
**NEW**



## LF995 RFフィールドテスター機能図

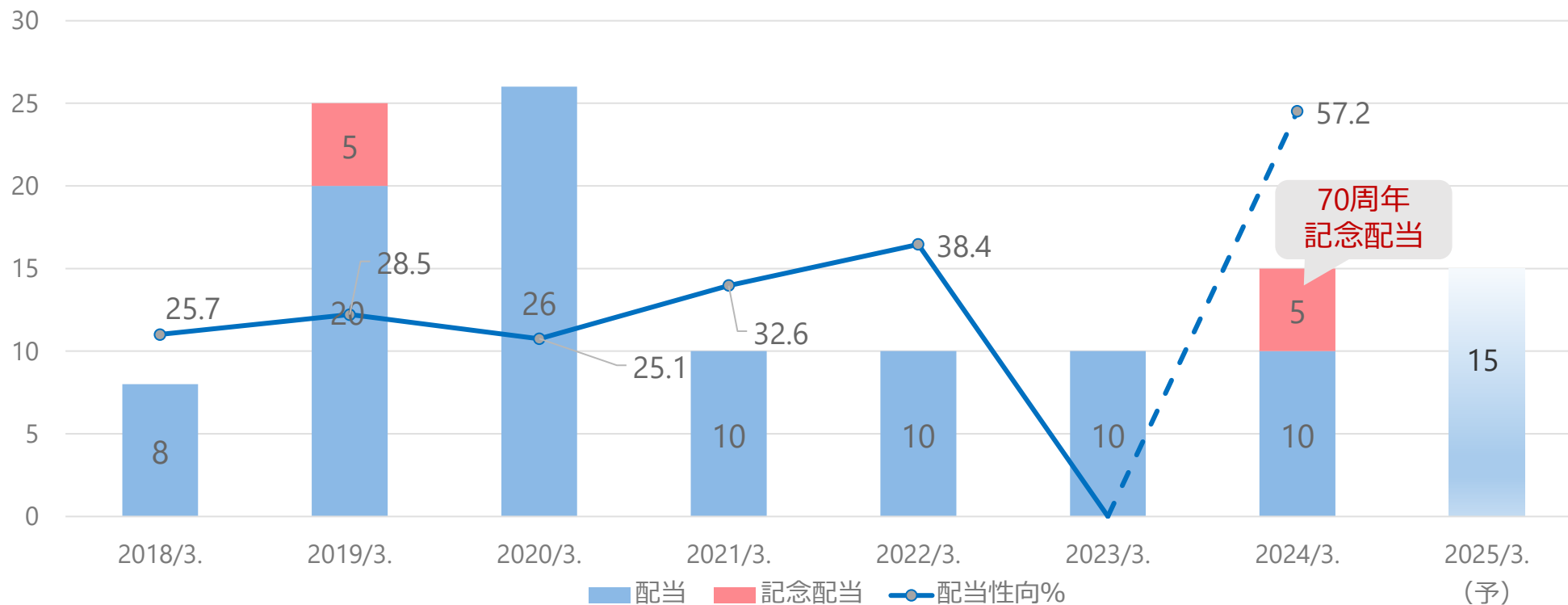
- ・ 地上波、CATV、衛星のデジタル放送に対応したRFフィールドテスター。
- ・ 遠隔アクセス対応。中継局設備の監視に最適且つ格段に作業性効率アップ。
- ・ 位置情報と測定データを自動でクラウドへアップロードを実現し報告書自動作成する事で業務効率が向上。



# 株主還元

企業成長投資と株主還元のバランス重視。安定的な配当を継続。

(配当：円)



# R&D指針 更に積極的な投資を実施

激動の環境変化に迅速に対応すべく、積極的にR&Dへ投資

グループR&D投資額

